

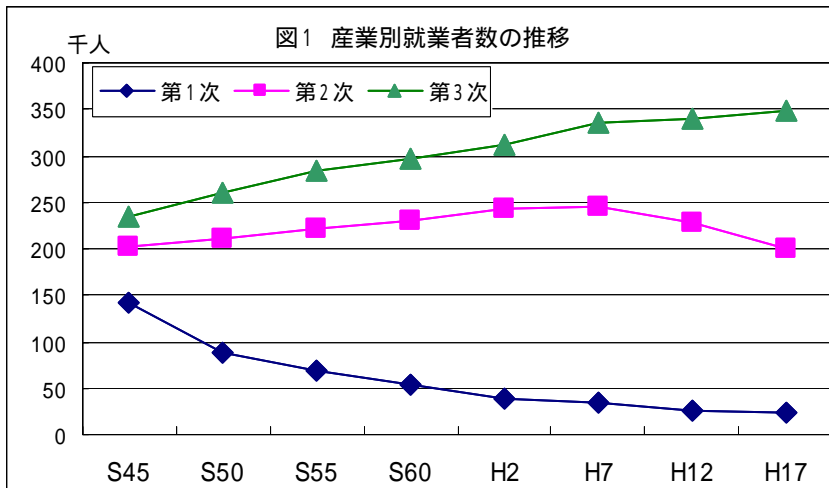
国勢調査ギャラリー

平成22年8月2日

国勢調査でわかること - その5 -

国勢調査はさまざまなデータが得られる調査です。そのデータは、国や地域社会の姿を知るために、手軽にみることができます。今年10月に実施する平成22年国勢調査では、どのようなことがわかるのでしょうか？これまでの国勢調査でわかることをご紹介します。

1 富山県の産業別就業者数の推移



【第1次産業】
農業、林業、漁業
【第2次産業】
鉱業、建設業、製造業
【第3次産業】
電気・ガス・熱供給・水道業、
情報通信業、運輸業、卸売・
小売業、金融・保険業、不動
産業、飲食店、宿泊業、医療、
福祉、教育、学習支援業、複
合サービス業、サービス業(他
に分類されないもの)等

H12以降は日本標準産業分類第11回
改訂(平成14年3月)により区分。

図1をみると、第1次産業は調査毎に減少しています。一方、第3次産業は上昇しています。第2次産業については平成7年までは微増でしたが、平成12年から減少に転じています。

2 市町村の産業別就業者の割合

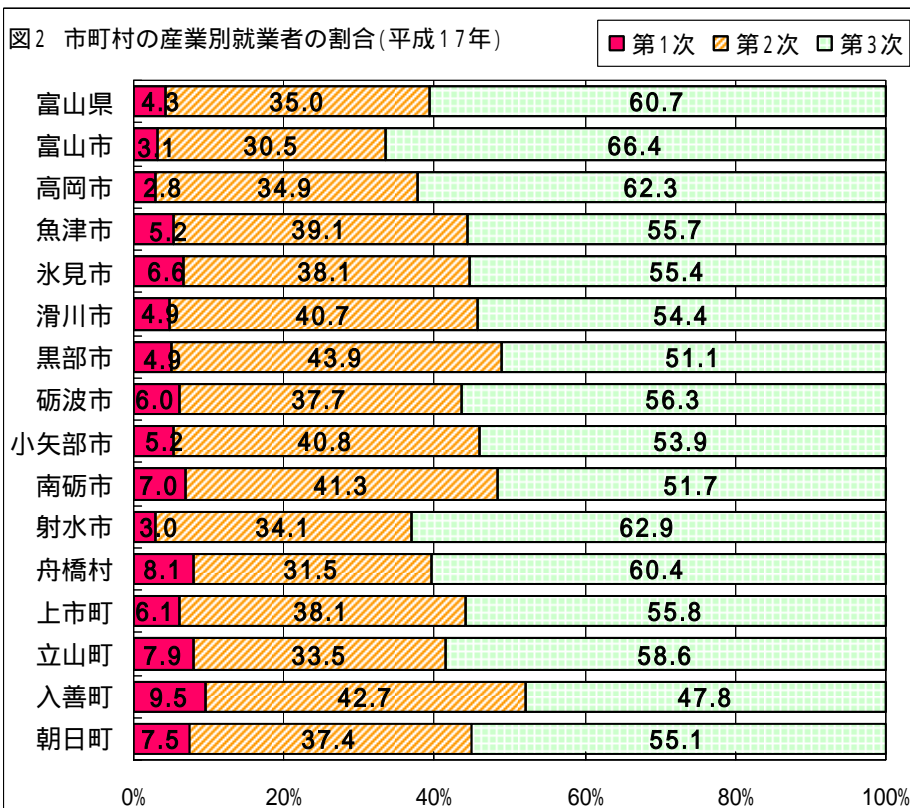


図2をみると、各産業の就業者割合が一番高い市町村は、第1次産業では入善町、第2次産業では黒部市、第3次産業では富山市となっています。

一方、割合が一番低いのは、第1次産業では高岡市、第2次産業では富山市、第3次産業では入善町となっています。

